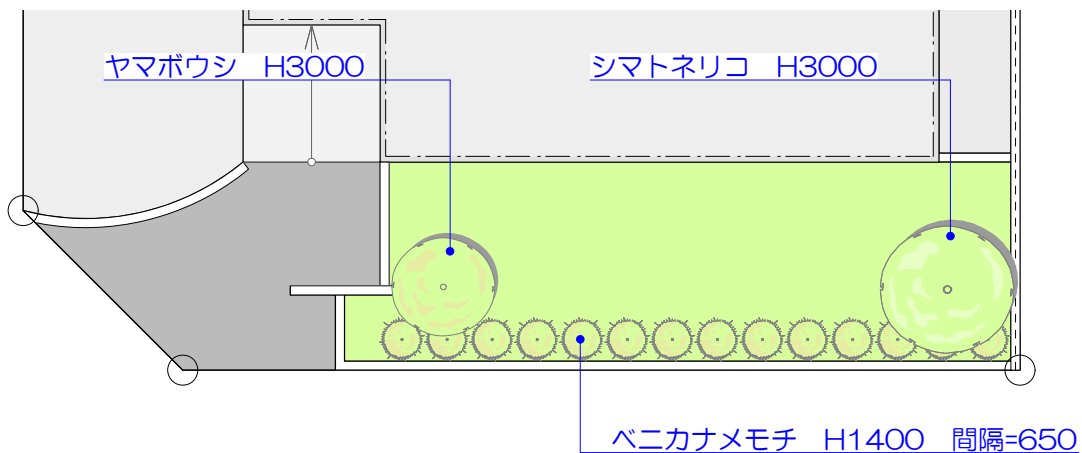


# 植栽を配置する

下の図を元に植栽を配置しましょう。



レイヤは「造園」

## 1 樹木の選択(単独配置)

配置する樹木

- ・ヤマボウシ
- ・シマトネリコ

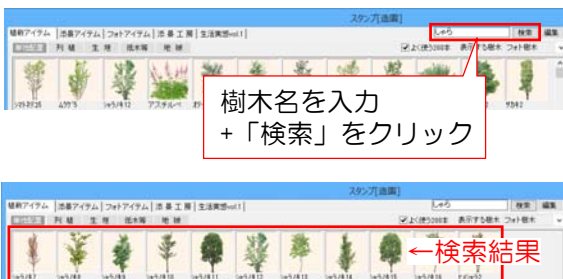
配置したい樹木を選択します。

1-1 レイヤを「造園」にし、スタンプパレットの「植栽アイテム」で「単独配置」をクリックします。

1-2 表示された一覧から樹木を選択します。



【樹木を探したいときは・・・】



樹木の名称で検索することができます。

スタンプ画面右上の  に検索する樹木の名前をひらがなか、かたかなで入力し、**検索** をクリックします。

樹木の検索結果が表示されます。

 [詳細説明](#) [\[植栽の検索\]を検索](#)

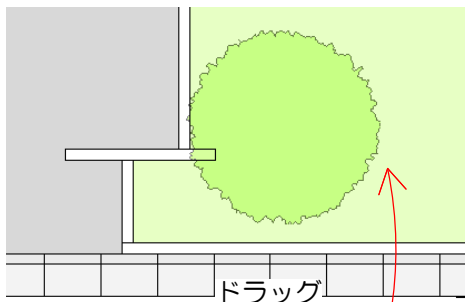
単独配置

「単独配置」をクリックすると初期状態に戻ります。

## 2 樹木の配置(単独配置)

樹木を配置します。

2-1 選択した樹木を平面図上へドラッグします。



樹木は約600種類以上登録されており、毎月更新されています。使用回数が多い樹木は、自動的に一覧の上方へ表示されるようになります。



### 【リアルタイムパースで配置】



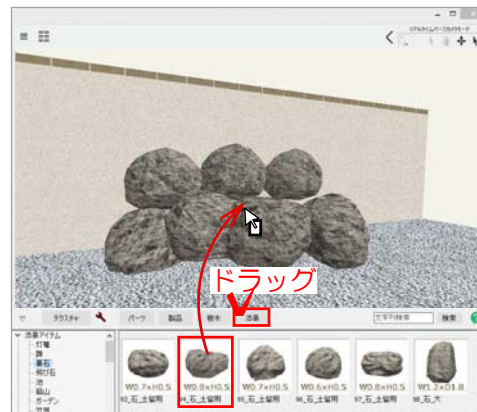
1 リアルタイムパースの左下△ボタンをクリックします。

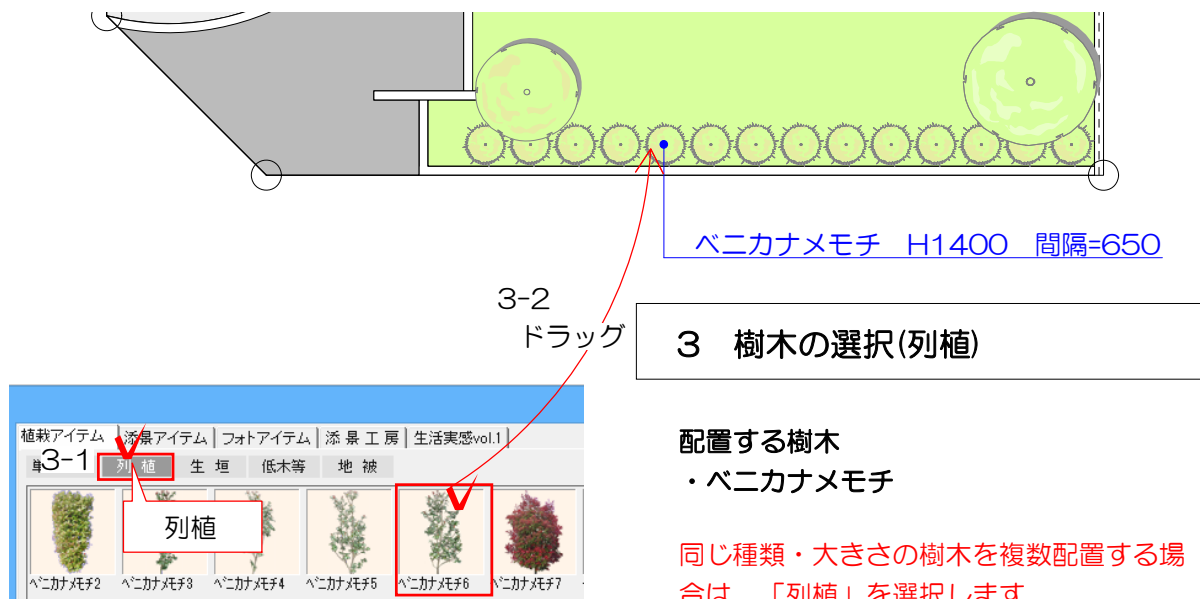
樹木などコンテンツを選ぶ画面が表示されます。

2 パーツ・製品・樹木・添景からコンテンツを選択し、ドラッグで配置します。

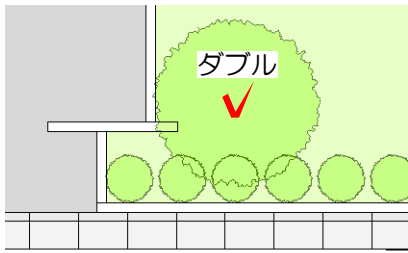
ドラッグした場所に合わせて、レベルが合うようになっています。

石積なども簡単に作成できます。





【樹木のサイズを変更したいときは・・・】



配置した樹木をダブルクリックすると  
サイズの変更画面が表示されます。

樹木設定画面

データ[植栽]

<樹木データ>

平面 幅 2064 mm  3D連動

3D 高さ 3000 mm  
下端 0 mm  3D反転

注釈  ヤマボウシ  
 H=3.0  
幹径(胸高) 0 mm  
備考   
 備考を反映する

OK キャンセル

幅(葉張り)  
※高さで連動

高さ  
※幅で連動

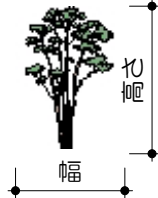
下端=樹木の  
根元のレベル

注釈に表示  
する内容

幅や高さを入力し、「OK」をクリックします。

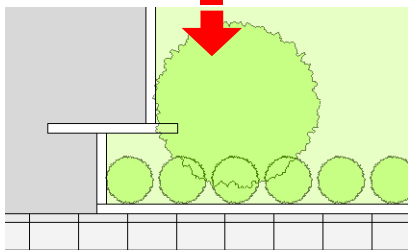
3D連動

✓がある時に、幅または  
高さのいずれかを変える  
ともう一方に比例した数  
値が入ります。



3D反転

立面の左右反転



樹木のサイズが変更されました。

生垣設定画面

データ[植栽]

<生垣データ>

平面 長さ 2000 mm  
幅 300 mm  3D連動

3D

高さ 1200 mm 高さ 1200 mm  
下端 0 mm 下端 0 mm  
長さ 2000 mm

注釈  H1200\_枝なし  
 H=1.2  
備考   
 備考を反映する

OK キャンセル

低木設定画面

データ[植栽]

<低木・花壇等データ>

平面 幅 2000 mm  
奥行 563 mm  平面連動

3D 幅 394 mm  
高さ 394 mm  
下端 0 mm  3D連動  
 3D反転

平面手ぶれ線設定  
振れ幅 100 mm  
オフセット  内側  中心  外側

注釈  タイプ選択...低木

低木  
 H=0.4  
備考   
 備考を反映する

eE-Painter  
 平面を手ぶれ線表現にする

OK キャンセル

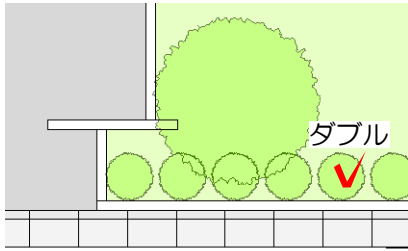
ダブルクリックした植栽  
によって設定画面に多少  
違いがあります。



詳細説明

[生垣の配置・低木の配置]  
を検索

## 4 サイズ・間隔の変更(列植)



配置した樹木をダブルクリックするとサイズを変更することができます。

H1400のベニカナメモチを650間隔に配置します。

4-1 レイヤを「造園」にし、スタンプパレットの「植栽アイテム」で「列植」をクリックします。

高さ：1400 ※幅と連動

間隔：650

幅：高さに比例 ※高さとの連動

下端：0 (左右の設定)

※幅や高さ、間隔を入力し、「OK」をクリックします。

**データ[植栽]**

<列植データ>

平面  **幅(葉張り) ※高さとの連動**

3D連動 **※幅、高さの連動**

3D   3D反転 **高さ ※幅との連動**

下端   **※樹木の左右反転**

**長さ 9247 mm 列植の配置距離**

**間隔 650 mm 列植の配置間隔**

下端=樹木の根元のレベル ※左右の設定

注釈

H=1.2

幹径(胸高)

備考

備考を反映する

OK  **注釈に表示する内容**

ベニカナメモチのサイズが変更されました。



植栽が配置できましたか？

配置ができれば保存しましょう。

リアルタイムパースで確認してみましょう。

【低木を配置したいときは・・・】

## 1 低木の選択

配置したい低木を選択します。

1-1 レイヤを「造園」にし、スタンプパレットの「植栽アイテム」で「低木等」をクリックします。



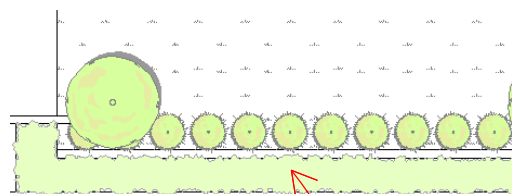
低木は「サツキ」や「アベリア」などの名称ではなく「形」で選択します。



## 2 低木の配置

低木を配置します。

2-1 選択した低木を画面上へドラッグします。

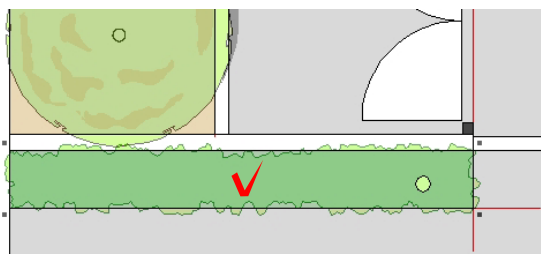


配置する時は配置したい範囲の周辺の線上にマウスを合わせて配置しましょう。

【低木や生垣が埋まっている、浮いているときは・・・】

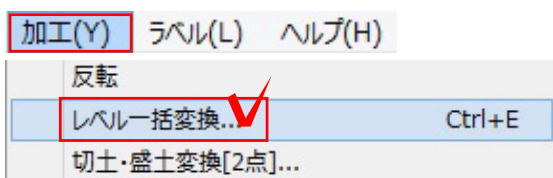


配置した低木や生垣が埋まっていたり、浮いているときがあります。「レベル一括変換」を使って調整することができます。



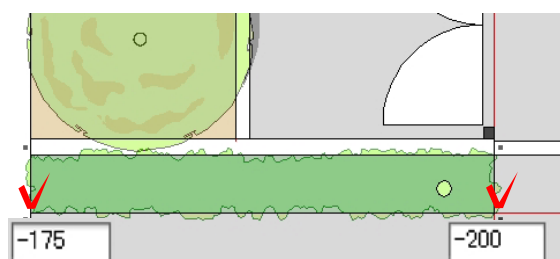
## 1 選択

1-1 レベルを調整したい植栽を選択します。

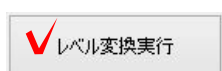


## 2 レベル一括変換

2-1 「加工」メニューの「レベル一括変換」をクリックします・



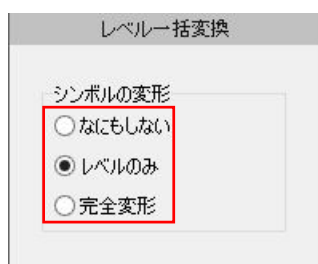
2-2 レベルを指定する2点をクリックして数値を入力します。



2-3 「レベル変換実行」をクリックします。



レベルが設定されました。



「添景」が選択されている場合は、右側の「シンボルの変形」を設定することができます。

### 【レベルのみ】

→傾斜に合わせて上下に移動

### 【完全変形】

→傾斜に合わせて形が変形します。



# 平面図を詳細に仕上げる

平面図を線画で詳細に仕上げたい場合は、2Dレイヤで作業をします。



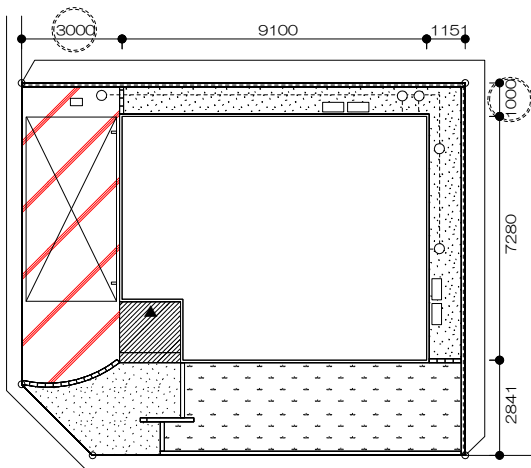
## 2Dレイヤ作業方法

レイヤは「2Dレイヤ」で作業します。



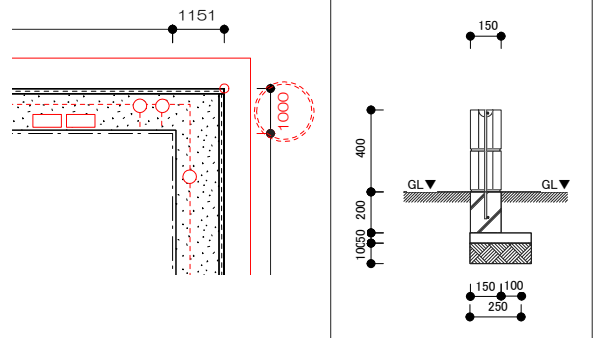
ハッチングを入れたり、文字、直線・四角形・多角形などの図形を描くことができます。

### 1 ハッチングを入れる



### 2 文字を書く

### 3 図形を描く



CB150 2段積 H400 フェンス無し



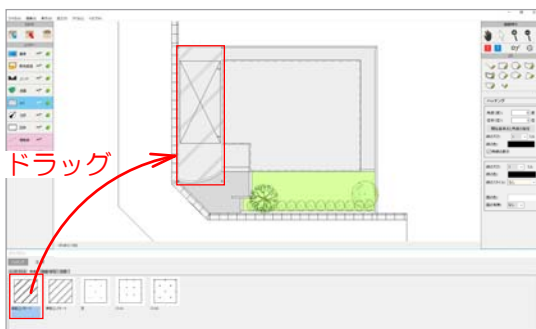


レイヤは「2D」

## 1 ハッチングを入れる



1-1 画面下の「ハッチング」を選択し、「模様」をクリックします。



1-2 「有筋コンクリート」を土間コンクリートの図形にドラッグします。

床や塀などの図形の上、もしくは補助線で囲われた範囲にドラッグできます。

※ユニットレイヤの床・階段の設定画面→「目地線画」からハッチングを設定することもできます。

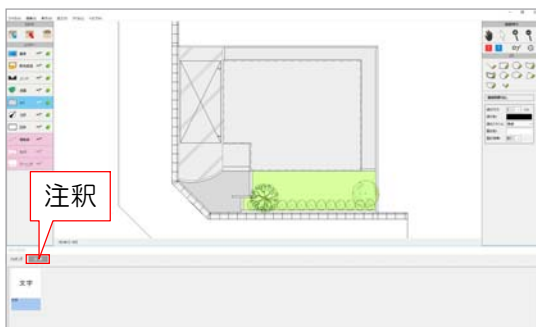
 参考 [目地線画] を検索

 詳しい操作方法はWEBマニュアルを参照してください。

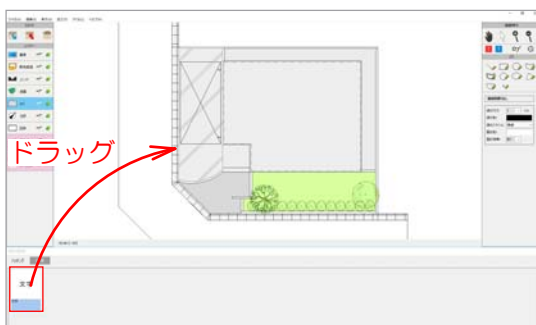
 [2Dレイヤ] を検索

## 2 文字を書く

※今回は作業の必要はありません。

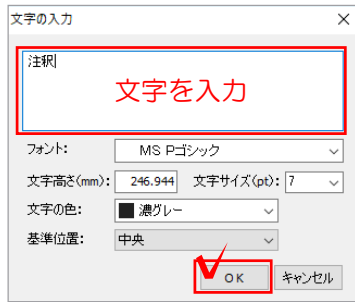


2-1 画面下の「注釈」を選択します。



2-2 文字を配置したい箇所にドラッグします。

設定画面が表示されます。



※注釈レイヤの「文字」から文字を書くこともできます。

 詳細説明 P144  
テキスト

2-3 表示させたい文字を入力して「OK」をクリックします。

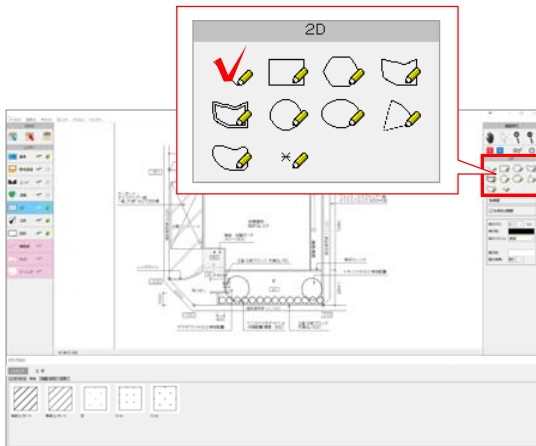
 詳しい操作方法はWEBマニュアルを参照してください。

 [2Dレイヤ] を検索


### 3 図形を描く

※今回は作業の必要はありません。

3-1 画面右上の各ツールボタンをクリックして図形を描きます。



※補助線で線を書き、注釈レイヤの「補助線→線」「補助線→面」のボタンから図形を描くこともできます。

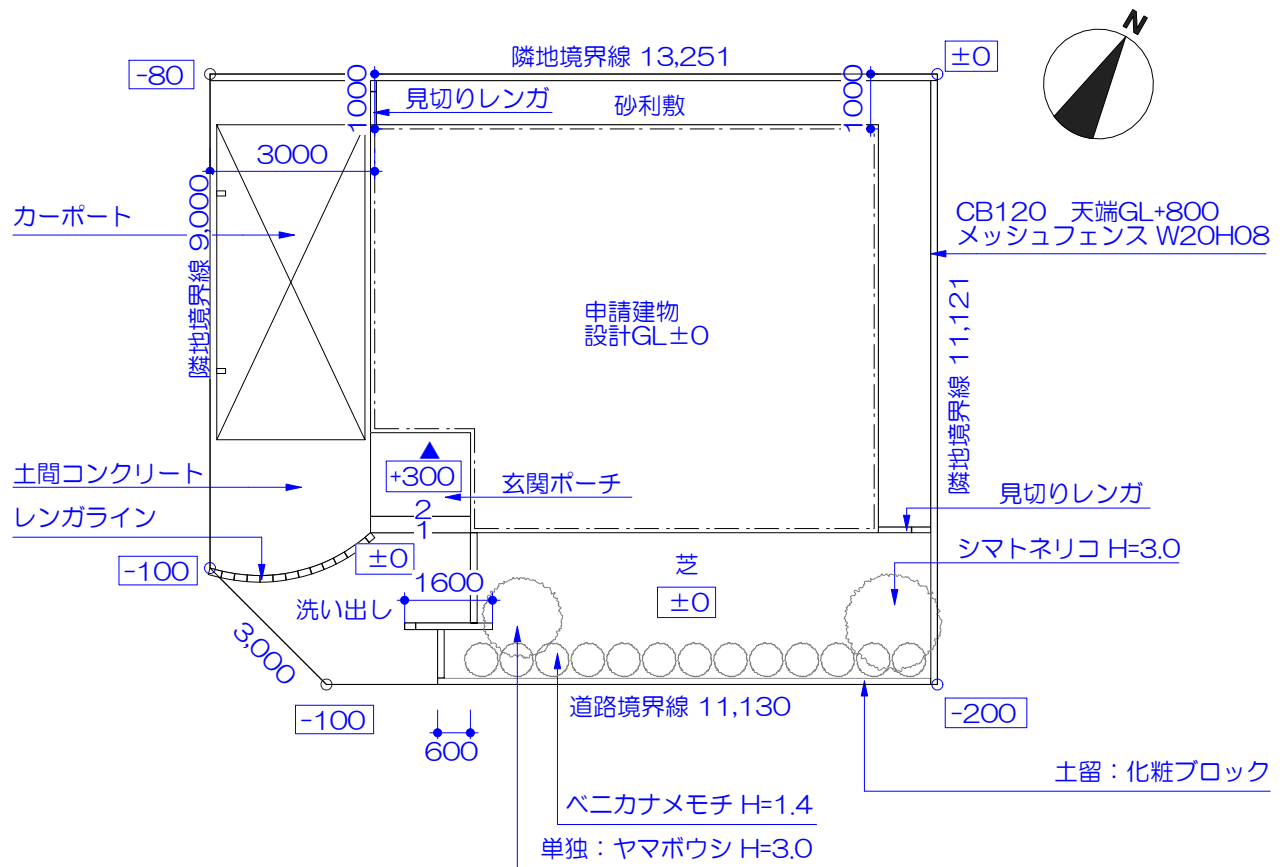
 参照 [補助線を線に変換]  
[補助線を面に変換]を検索

 詳しい操作方法はWEBマニュアルを参照してください。

 [2Dレイヤ] を検索

# 注釈を配置する

下の図を元に注釈を配置しましょう。今回は「方法1～6」を使用します。



## 注釈を配置する方法

注釈は「注釈レイヤ」で配置します。  
境界寸法、ポイント、文字、方位、寸法線などを入力します。

### 方法1 敷地注釈を書く

敷地の寸法やレベルを書きます。

### 方法2 植栽注釈・製品注釈を書く

植栽・製品の注釈を書きます。

### 方法3 文字を書く

文字だけを書きます。

### 方法4 引き出し線を書く

矢印の付いた文字を書きます。

### 方法5 寸法線を書く

寸法線を書きます。

### 方法6 記号や定型文を配置する

方位、建物入口のマークを配置します。

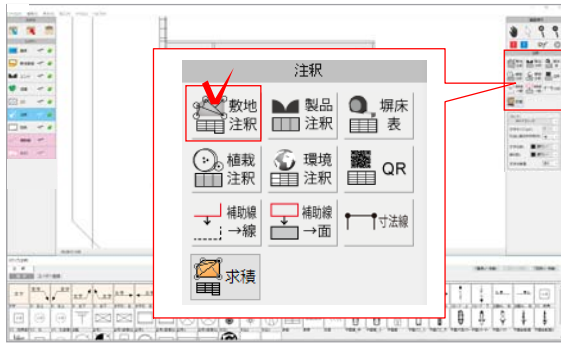


レイヤは「注釈」

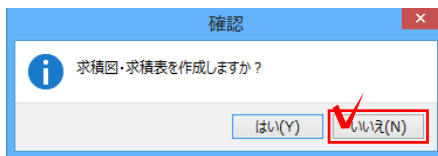
## 1 敷地注釈


敷地の長さや、境界ポイントなどを表示させます。

1-1 レイヤを「注釈」にし、画面右上の「敷地注釈」をクリックします。



1-2 求積表の設定画面が表示されます。「いいえ」をクリックします。



 求積表が必要な場合は「はい」をクリックします。

 参考 [敷地注釈]を検索



敷地注釈が表示されます。

 【敷地寸法だけが表示されたときは・・・】

「敷地基礎レイヤ」で注釈の設定をしていないと、寸法値のみが表示されます。境界注釈を入力したい時は、下記のいずれかの方法で入力します。

方法1：「注釈レイヤ」で寸法値をダブルクリックし、文字を入力します。

方法2：「敷地基礎レイヤ」へ戻り、注釈の設定をします。（設定はP44を参照）設定後、「注釈レイヤ」で「敷地注釈」をクリックします。





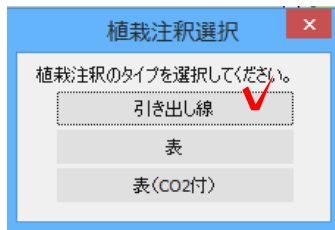
注釈

レイヤは「注釈」

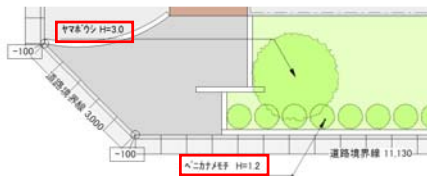
## 2 植栽注釈を書く



2-1 レイヤを「注釈」にし、画面右上の「植栽注釈」をクリックします。



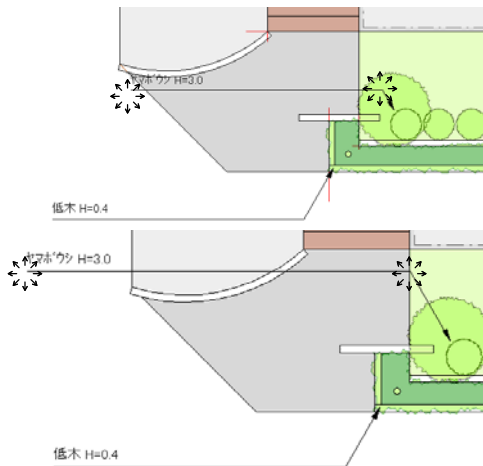
2-2 「引き出し線」か「表」を選択してクリックします。



植栽の注釈が表示されました。




### 【植栽注釈：引き出し線と表】



#### 【引き出し線】

外構の注釈同様、文字の付いた文字列を自動で表示します。

位置が他の注釈と重なることがあります。始めに表示して位置を調整してから、外構注釈を書きましょう。

引き出し線の中点または、終点（文字がある方）を  で変形することができます。



#### 【表】

平面図の植栽上には番号が表示されます。平面図右に使用している植栽の一覧表を作成します。

記号	樹木名	H	C	W	数量	備考
1	クロガネモチ	1.8	---	1.1	1	
2	シヤラノキ	2.5	---	1.4	1	
3	トネリコ	2.5	---	1.6	1	
4	ナナカマド	2.3	---	1.3	1	
5	H1200 枝なし	1.2	---		1	
6	低木	0.3	---		2	

表はダブルクリックで編集可能です。



参考 [植栽注釈]を検索



注釈

レイヤは「注釈」

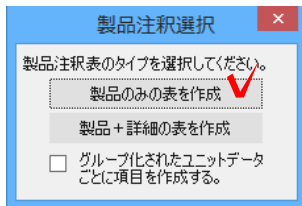
### 3 製品注釈を書く

使用している製品（メーカー金物商品）を一覧で表示することができます。

3-1 レイヤを「注釈」にし、画面右上の「製品注釈」をクリックします。



3-2 「製品のみ」を選択してクリックします。

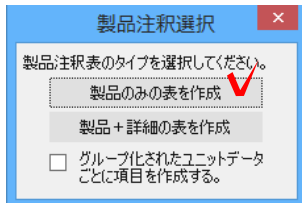


製品の一覧表が表示されました。

種別	メーカー	製品名	個数
両開門扉	三協アルミ	マイリッシュ_A01型 07-12W	1
機能門柱_ボール	(株)LDL	アクシィ型_組合せ例01	1
照明	エクステリアー般	門柱灯03	1
フェンス	YKK AP	レスティナフェンス_21型 H800	6
カーポート	(株)LDL	フーゴフレギュラー_基本 27-50	1



#### 【製品注釈】

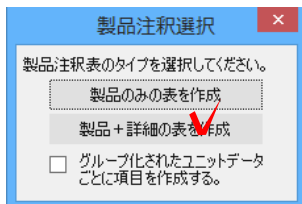


#### 【製品のみ】

製品名一覧が表になります。

表はダブルクリックで編集可能です。

種別	メーカー	製品名	個数
両開門扉	三協アルミ	マイリッシュ_A01型 07-12W	1
機能門柱_ボール	(株)LDL	アクシィ型_組合せ例01	1
照明	エクステリアー般	門柱灯03	1
フェンス	YKK AP	レスティナフェンス_21型 H800	6
カーポート	(株)LDL	フーゴフレギュラー_基本 27-50	1



#### 【製品+詳細】

製品名+オプション選択した製品名が表になります。

表はダブルクリックで編集可能です。

種別	メーカー	製品名	個数
両開門扉	三協アルミ	マイリッシュ_A01型 07-12W	1
		西角柱_75角	2
		打掛板_1	2
機能門柱_ボール	(株)LDL	アクシィ型_組合せ例01	1
		アクシィ_機能ポスト_右開き	1
照明	エクステリアー般	門柱灯03	1
フェンス	YKK AP	レスティナフェンス_21型 H800	6
カーポート	(株)LDL	フーゴフレギュラー_基本 27-50	1



参考 [製品注釈]を検索

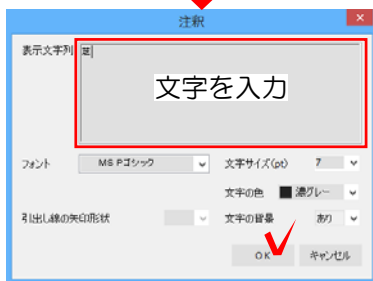


注釈

レイヤは「注釈」

## 4 文字を書く

4-1 レイヤを「注釈」にし、画面左下のパレット「注釈」→「基本」から「文字」を画面上へドラッグします。

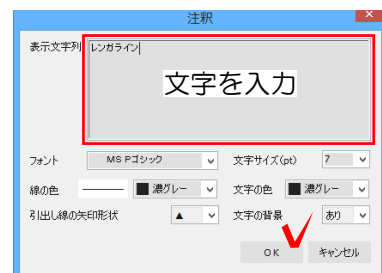
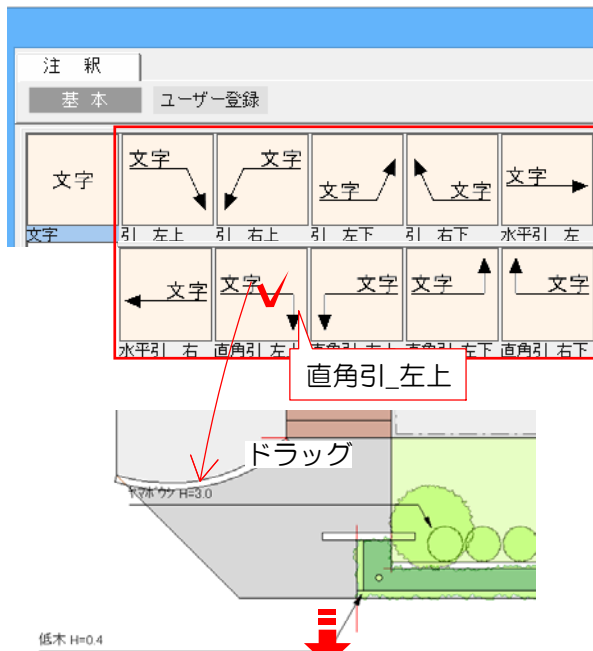


注釈設定画面が表示されます。



図形の「仕様名」が入力されています。

4-2 表示させたい文字を入力して「OK」をクリックします。



## 5 引き出し線を書く

5-1 レイヤを「注釈」にし、画面左下のパレットから引き出し線を画面上へドラッグします。



それぞれ引き出し線の角度と、文字の配置方向が違います。

5-2 矢印の先を図形に合わせて離します。

注釈設定画面が表示されます。



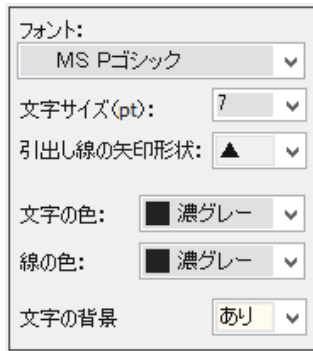
図形の「仕様名」が入力されています。

5-3 表示させたい文字を入力して「OK」をクリックします。





【文字のフォントやサイズ・色を変えたいときは・・・】



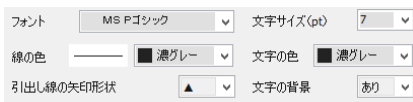
文字のフォントやサイズを変更するには、いくつかの方法があります。

【複数を変更する】

変更したい注釈を選択し、画面右のフォントとサイズを変更します。

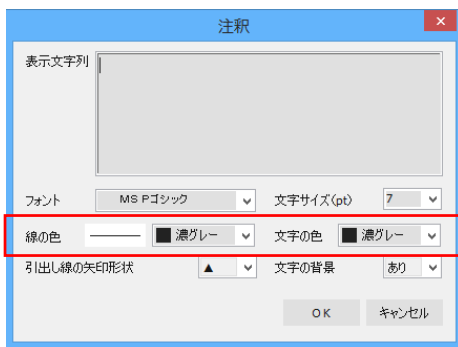
※注釈配置前に設定しておく、配置する注釈は設定したフォント・サイズで表示されます。

【注釈設定画面】



【一つだけ変更する】

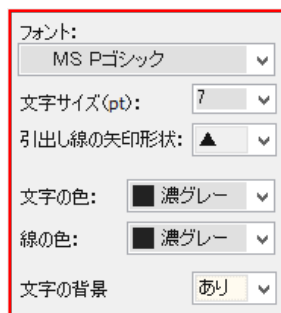
変更したい注釈をダブルクリックし、注釈設定画面で変更します。



文字の色を変更する方法

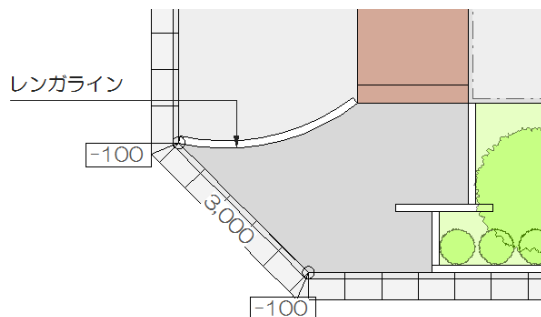
引き出し線の色・文字の色を選択し変更します。

※フォントとサイズを変更する時と同じように複数でも変更する事ができます。



【デフォルト設定をする】

注釈を何も選択しない状態で設定しておく、デフォルトを決める事ができます。何回も設定しなくても、CADを開いた時に設定したフォントや文字のサイズになっています。



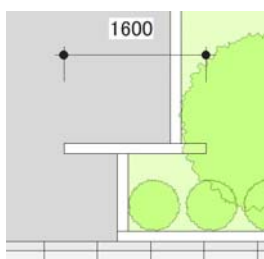
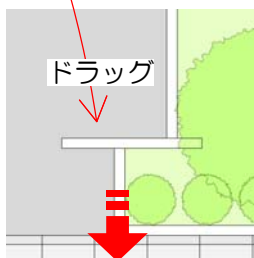
他の引き出し線も入力してみましょう。

入力できたら保存しましょう。



注釈

レイヤは「注釈」



## 6 寸法線を書く

### 【方法1 スタンプ寸法線】

6-1-1 レイヤを「注釈」にし、画面左下のパレットから「寸法線」を画面上へドラッグします。

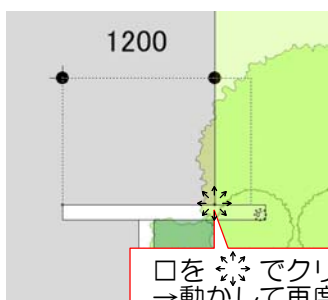
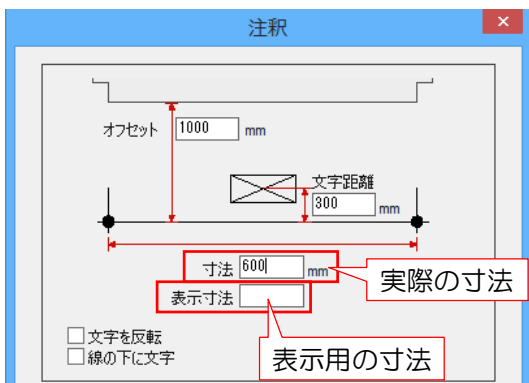
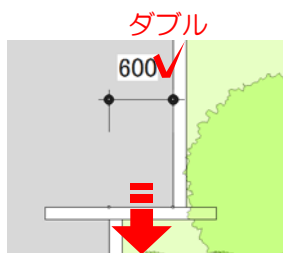


矢印の先を寸法線を配置したい図形に合わせて離します。

寸法線が配置されました。



### 【寸法線の数値が合わないときは・・・】



寸法線が図形に合わなかった場合は長さや表示数値を調整します。

#### 【調整方法1】

寸法線の数値をダブルクリックします。

「寸法」で実際の長さ、「表示寸法」で表示用の長さが設定できます。

※表示寸法は数字以外の文字も入力できます。



参考・詳細説明 [寸法線]を検索

#### 【調整方法2】

寸法線の数値をクリックし、表示された口を✳️になったらクリックします。

移動させたい位置でクリックして調整できます。

※数値や角度がおよその位置になるので調整方法1と併用して利用しましょう。

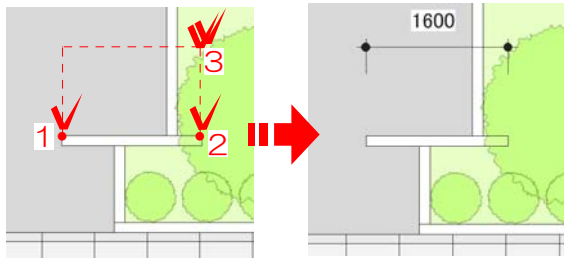


レイヤは「注釈」

【方法2 手書き寸法線】



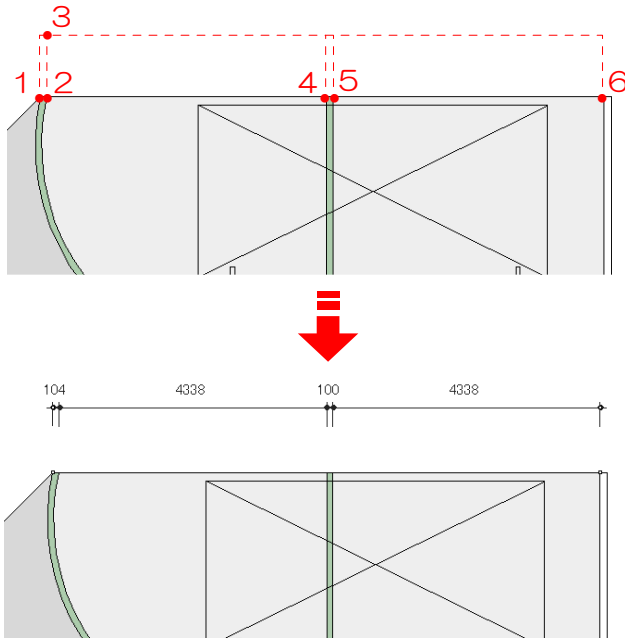
6-2-1 レイヤを「注釈」にし、画面右側の「寸法線」のボタンをクリックします。



6-2-2 寸法を入れる対象の2点をクリックで指定します。左図1、2

6-2-3 マウスを移動して寸法線を配置する位置でダブルクリックします。左図3

💡【寸法線を連続で書く方法】



1 寸法を入れる対象の2点をクリックで指定します。左図1、2

2 マウスを移動して寸法線を配置する位置でクリックします。左図3

先に指定した2点と平行な寸法線が描画されます。

Shiftキーを押すと用紙に対して水平、垂直の角度で配置されます。

3 以降のクリックで、連続して寸法線を作成します。左図4、5

4 ダブルクリックで作成が終了します。左図6

寸法線は、グループ化されて配置されます。



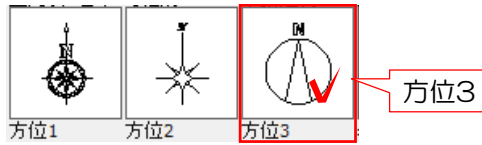
注釈

レイヤは「注釈」

## 7 記号や定型文を配置する

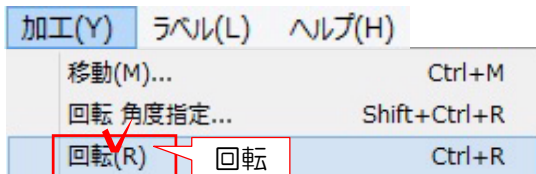
ここでは方位と建物入り口の▲、その他定型文を配置します。

7-1 レイヤを「注釈」にし、「方位3」を画面上へドラッグします。



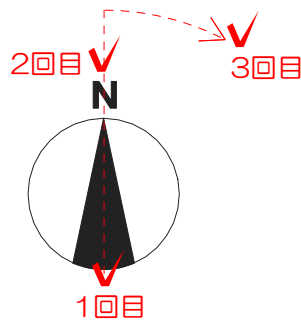
方位の角度を調整します。

7-2 配置した方位を選択した状態で、「加工」メニューの「回転」をクリックします。



「回転」は任意の点を3回クリックすることで回転させます。

今回は縦軸を右へ回転させたいので以下のように作業します。



### 7-3 【クリック1回目】

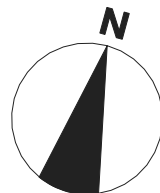
回転する時の基準にしたい点でクリック。  
大抵、図形の中心や角です。  
今回は中央一番下の点。

### 7-4 【クリック2回目】

回転する軸になるラインでクリック。  
大抵、1回目の点と反対側の角などです。  
今回は方位軸に沿って中央一番上の点。

### 7-5 【クリック3回目】

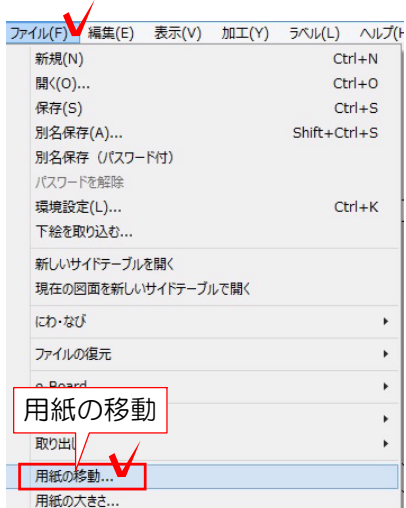
軸の回転方向でクリック。  
角度があっていればいいので、少し離れたところを指定します。  
今回は右斜め上の点。



方位が回転しました。



【注釈が用紙枠から出てしまうときは・・・】



注釈が用紙から出てしまう場合は、**用紙を移動**して調整します。

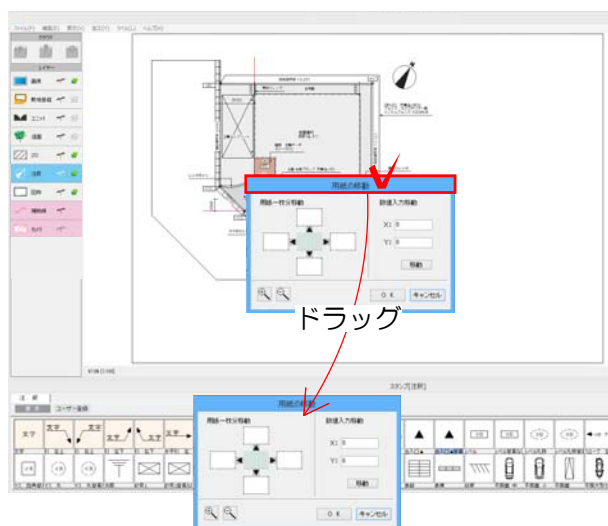



参考 [用紙位置の移動]を検索

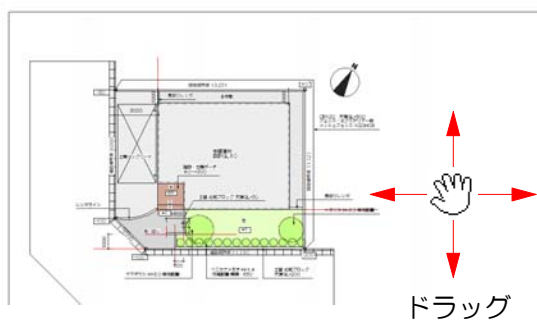
1-1 レイヤを「注釈」にし、「ファイル」メニューから「**用紙の移動**」をクリックします。

用紙移動の設定画面が表示されます。

1-2 設定画面の上部バーをドラッグし、画面下へ移動します。



1-3 画面上にカーソルを動かし、 になったらドラッグして用紙範囲を動かします。



1-4 用紙位置が調整できたら「OK」をクリックします。

